

# くつろぎ タイム

仙台商工会議所2号議員  
株式会社NTTドコモ 東北支社  
(青葉区上杉)  
執行役員 東北支社長

あおやま こうじ  
**青山 幸二 氏**

昭和34年1月10日生まれ  
大阪府出身 血液型O型

## 旅に出ると、そこで出会った人、 風景、風俗、文化といったものから 力がもらえるような気がします。

### 「ご旅行がお好きと 伺いましたが。」

そうなんです。仙台には単身でまいりましたので、家族や気の合う昔からの友人がこちらに来たときには、東北を巡る旅を楽しんでいます。先日松尾芭蕉が訪れたという中尊寺、毛越寺、山寺立石寺、瑞巖寺の四寺廻廊を巡りました。

お寺もいいのですが、実はお城にはもっと興味があります。心惹かれるものには、深層心理が少なからず影響していると思うのですが、私は大阪出身でして、実家が大阪城から1.5キロくらいの所にありました。私の実家は戦国時代の大阪城の外堀の上に建っていたものですから、部屋の窓を開けると、他の家々よりも高いところから大阪城を眺めることができました。

また中学、高校のころは、大阪城が体力トレーニングの場だったと言いますか、お城の堀をランニングで回り、最後に急な坂を登り切ると言うトレーニングを繰り返していたこともあり、お城は身近なものだっ

たのです。だからでしょうか、旅行に行く  
となると、「お城に行こう」と思うのです。

## 海外旅行でも、やはりお城に 行かれるのですか。

計画的に長期の休みが取れたころは、家  
族とよく海外に出かけました。中でも、フ  
ランスのロワール川沿いには、中世のお城  
が点在しています、それらを見るだけで  
はなく、古城ホテルとってお城に泊まれ  
るようになっていくんです。その中でも特に  
気に入っているのが、シャンボール城とヴィ  
ランドリー城。シャンボール城には、お城  
のすばらしさもさることながら上がる人と  
下りる人が出会うことがないようにとつく  
られた二重のらせん階段があって、レオナル  
ド・ダ・ヴィンチが設計したと言われています。  
また、ヴィランドリー城は、庭園が目を見  
張るほどすばらしく手入れが行き届いてお  
り、上から見ると庭全体が模様を描くよう  
になっていくなど、それは美しいんです。

旅に出ると、そこで出会った人、風景、  
風俗、そういったものから特別な力がもら  
えるような気がします。だから旅が好き  
なのでしょうね。私はワインも好きなので  
が、その土地でつくられ、愛されてきたお  
酒の背景を考えると、そこに住む人たちの  
食文化やライフスタイルが見えてくるよう  
な気がします。こういったことは、実際に  
その土地に行ってみないと感じるものが  
できません。私は自分で旅のプランを練りた  
い方なので、家族で行くときの旅のプラン  
ニングは任せてもらっています。文化や歴  
史にふれて、世界遺産も見て…と、さまざ  
まな要素を組み込んで旅の行程を決めま  
す。家族には概ね好評ではないかと思っ  
ていますが、どうでしょうか(笑)。

## 健康管理の面で気をつけている ことはありますか。

仙台は自然が豊かで食べ物も、お酒もお  
いしいですね。ワインの話と同じだと思う  
のですが、食べ物がおいしいので、それに  
応じたおいしいお酒がつくられているのだ  
と思います。

それらを堪能するためには、健康管理の  
ためにも適度な運動は必要ですから、時間  
があれば運動をするように心がけていま  
す。ムーヴバンドというリストバンド型の活動  
量計を身につけて、歩いた歩数やそれに  
応じた消費カロリーなどのデータをスマー  
トフォンに転送、クラウドに蓄積して健康管  
理の一助にしています。一日一万歩は歩  
こうと思っているのですが、残念ながら平日  
は難しいですね。

## 最後に、3月14日から始まる国連防災世界会議に 向けた御社の取り組みについて、教えてください。

東北の皆さまのそばに寄り添い、これか  
らの「スマートライフをサポートするパー  
トナー」を標榜する私たちは、今回の国連  
防災世界会議もその一環としてとらえてお  
り、減災・防災に対して私たちができるこ

とを、皆さまと一緒に行ってまいりたいと  
思っています。

その内容をいくつかご紹介しますと、ま  
ず、本会議に参加される193カ国の方々  
および、荒浜や蒲生といった津波の被害に  
遭った地域を訪れる「スタディツアー」の  
参加者向けにタブレットを貸し出します。  
このタブレットを持って、実際に津波の被  
害に遭った場所に立ち、その地域の現状と  
比較する形で、震災直後の画像・動画を見  
ていただけるようになっていきます。また、  
大学教授陣による講義が無料で受けられる  
ウェブサービス「gacco」(ガッコ)の  
中に、東北大学の災害科学国際研究所と  
タイアップした講座を開講しました。「東日本  
大震災を科学する」被害実態と今後の減災  
への取組」というテーマで、4回にわたっ  
て講義を展開します。さらに、日本語と10  
カ国語の間の翻訳に対応する音声翻訳サー  
ビス「はなして翻訳ーJ Speak」の  
提供や、弊社が仙台市から運営を委託され  
ております仙台コミュニティサイクル「ダ  
テバイク」の臨時ポートの増設も精力的に  
進めています。国連防災世界会議を、復興  
を世界に発信できる重要な場と捉え、仙台  
市など関係機関と連携し、成功に向け支援  
していきたくと考えています。



昨年春、青森・弘前城を訪ねたときの1枚。

## 『森』は生きています。人間と共に。

二酸化炭素を酸素に。人間にとって欠かせない酸素を、人間が吐  
き出した二酸化炭素から作り出す植物たち。この自然のサイクル  
を、一本の木を、そして森全体を、見守っていかなくては……。  
そう私たちは考えています。私たちは青葉環境保全です。

# 森

—— より良い環境をめざす ——  
**AOBA 青葉環境保全**

本社/仙台市若林区蒲町19-1

電話(022)286-3161(代)